



5月24日(金)に4・5歳で芝浦中央公園まで徒歩遠足に行ってきました。まさに五月晴れで心地よい風が吹き、さわやかな遠足日和でした。

ビオトープでは、年齢関係なくザリガニやカエルを夢中になって探して、5歳児がザリガニを捕まえて、みんなに見せて回っていました。芝生のところでは、鬼ごっこが始まっていた。そのうちだるまさんが転んだが始まりました。なんと4・5歳混合でじゃんけんして鬼を決めています。私は傍らで見えていたのですが、



大人が関わらなくても、自分たちでどんどん遊びを発展させていました。お楽しみのお弁当は、クラス毎に食べました。外で食べるお弁当はまた格別で、みんなで見せ合ったり、大好きなおかずで大喜びでした。食後はまた色々なところで遊びが始まりました。左右から1人ずつ歩いてきて出会ったところでじゃんけんし、負けた方が道を譲るゲームでは、4歳さん同士のじゃんけんで、どうしても後出しをしてしまう4歳さんに5歳さんが、「ちがうよ、いっしょに出すんだよ。ほらじゃんけんぽん」と見守って声をかけていました。園外保育は子どもたち一人ひとりが好きな遊びを思う存分満喫でき、異年齢の交流が図れる貴重な体験です。これから園でも様々なクラスの交流を行っていきたいと思います。

園長 興津 夏子



◇ 今月の教育・保育目標 ◇



- 0歳児： 室温や湿度に配慮しながら、健やかに過ごせるようにする
保育者に見守られている安心感の中で遊ぶ
- 1歳児： 心地よく園生活を過ごせるよう、清潔を保ちながら体調に配慮していく
虫や草花、水や土などの自然物に触れ、五感を使って遊ぶ
- 2歳児： 保育者や友だちとのかかわりの中で、一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする
保育者に見守られながら簡単な身の回りのことをしてみようとする
- 3歳児： 身の回りの環境に興味を持ち、自ら関わってみようとする
体調や気温の変化を感じ、保育者に伝えようとする
- 4歳児： 身の回りの物の管理の仕方を伝え、身に付けられるように見守っていく
集団遊びや、少人数でのグループ活動を通して、友だちとの関りを深めていく
- 5歳児： 脱いだ衣類を正しくたためるよう言葉をかけながら見守っていく
友だちと様々な活動に気持ちを合わせて取り組み、思いを伝えあって関係を深めていく
- 一時保育： 一人ひとりの生活リズムの中で、保育者と関わりながら安心して過ごす
保育者と一緒に興味のあるものに触れたり玩具で遊んでみようとする



ほっとするコーヒーやさん 6月18日(火) 2階プレイコーナー

17:00~18:00 降園後にコーヒーはいかがですか？